

浅原一上東幹線外配水管設計施工一括方式更新事業

審 査 講 評

令和6年11月27日

倉敷市水道局

浅原－上東幹線外配水管設計施工一括方式更新事業（以下「本事業」という。）に関して、事業者選定基準（令和 6 年 3 月 28 日公表）に基づき、提案内容の審査を行いましたので、本審査講評のとおり報告します。

第1章 事業者選定の方式

本事業を担う事業者の選定に当たっては、提案価格のほかに、技術的な提案を求めることとし、その内容を評価する公募型プロポーザル方式を採用した。

第2章 事業者選定委員会の開催経過

倉敷市水道局管路DB事業者選定委員会（以下、「選定委員会」という）を設置し、提案内容について評価を行った。

選定委員会の開催日、主な審議事項は以下のとおりである。

表1 選定委員会の開催経過

開催回	開催日	主な審議事項
第1回	令和6年8月27日	・事業の概要について
第2回	令和6年10月4日	・事務連絡（応募者と基礎審査結果報告） ・評価内容及び採点方法の説明と質疑 ・審査結果及び審査講評に関する説明と質疑 ・プレゼンテーションについて
第3回	令和6年10月23日	・応募者のプレゼンテーション及びヒアリング ・評価点の決定 ・最優秀提案者の選定

第3章 事業者選定審査の方法と手順

3-1. 審査の方法

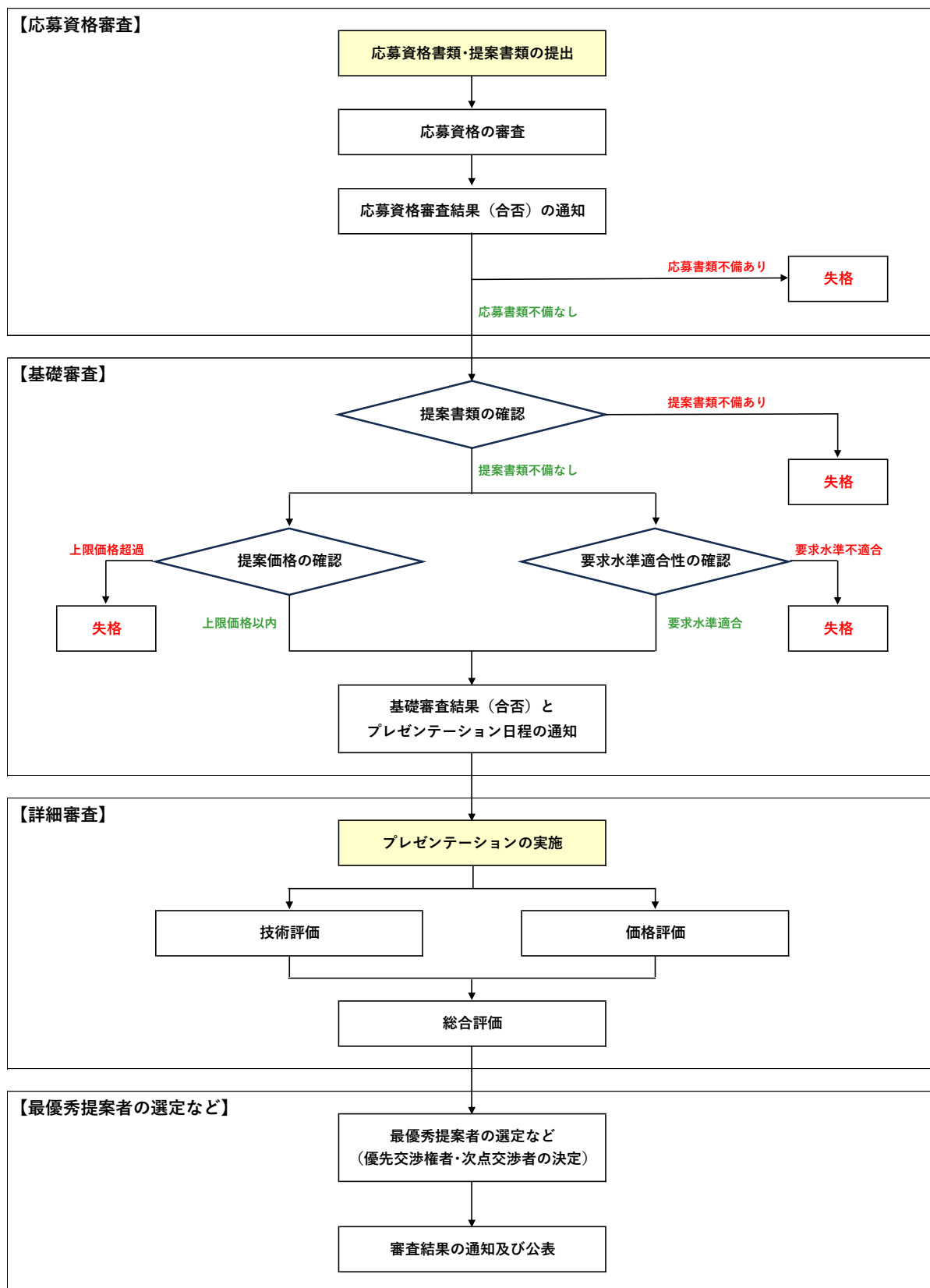
事業者の選定については、応募資格及び提案内容の審査（基礎審査、詳細審査）により行った。

ここで、応募資格審査では応募者の参加資格について審査し、提案内容審査では提案価格や要求水準との適合性の確認（基礎審査）、業務遂行体制面や設計・施工に関する提案、価格に関する評価など（詳細審査）を審査した。

3-2. 審査の手順

審査の手順を次ページのフロー図に示す。

図1 審査の手順



第4章 応募資格の審査

応募資格審査書類の受付締切日であった令和6年6月28日までに、1グループから参加表明書及び応募資格審査書類の提出があり、選定委員会事務局が募集要項に示した応募資格を満たしていることを確認した。

令和6年7月12日付けで、応募したグループの代表企業に対し、本事業への応募資格を有する旨の審査結果を書面にて通知した。

第5章 提案内容の審査

5-1. 基礎審査

基礎審査及び詳細審査書類の受付締切日であった令和6年9月13日までに、1グループから見積書及び技術提案書類の提出があり、選定委員会事務局が提案上限価格以内であること、要求水準の適合性に問題がないことを確認した。

令和6年9月30日付けで、応募したグループの代表企業に対し、基礎審査の合格とプレゼンテーションの開催日時などを書面にて通知した。

表2 応募グループ一覧

グループ	A
代表企業	株式会社クボタ 中四国支社
構成企業	株式会社ウエスコ 岡山支社 株式会社アクアプランニング

5-2. 詳細審査

詳細審査では、技術評価と価格評価を行った。

技術評価では、応募者の提案内容をプレゼンテーションで確認し、評価項目及び配点に基づいて得点化（以下、「技術評価点」という。80点満点。）した。また、価格評価では、提案上限価格と応募者が提出した価格との比率から得点化（以下、「価格評価点」という。20点満点。）した。

これら技術評価点及び価格評価点を合計したものを総合評価点（100点満点）とし、総合評価点が最も高い応募者を本事業の最優秀提案者とする事としたが、本事業に対する応募者が1者であったため、応募者の総合評価点が最低合格点（60点）を超えていのかどうか焦点となった。

次ページに、詳細審査の結果を示す。

表3 詳細審査の結果

評価項目（満点）	A
技術評価点（80点）	63.20点
価格評価点（20点）	0.15点
総合評価点（100点）	63.35点

第6章 審査の総評

本事業は、管路工事において「設計・施工一括発注方式」を採用することにより、老朽化が進行する基幹管路の更新を加速するとともに、大口径管路の布設経験が少ない地元建設企業を育成し、災害などの緊急時の対応力を向上することを目的として行われるものである。

最優秀提案者の選定に当たっては「公募型プロポーザル方式」を採用し、民間事業者の力を活用することを主眼とする一方で、透明性、公平性に配慮し、事業者選定を実施することとした。

応募のあった1者からは、これまでの実績や知見、創意工夫が活かされた提案内容が示された。審査項目のうち、特に「実施体制」、「地域貢献」、「創意工夫」において優れた提案があった。選定委員の評価を踏まえた技術評価点及び提案価格から算出した価格評価点を合計した総合評価点が、最低合格点を満たしていたので最優秀提案者として選定された。